

# 医政メモQ&A

## 「札幌市乳幼児医療費助成制度の対象年齢拡大を求める陳情について」

少子化時代の現在、将来の日本文化・経済を担う労働力の確保が叫ばれている反面、景気が低迷する中、若き父親・母親は困難な状況で子育てを余儀なくされている。環境汚染等もあり小児の疾病は増加の傾向にあるとさえ言われている。札幌市医師会は小児科医会からの要請もあり長年、小児の医療費助成の拡大を、札幌市に働き掛けてきたが最近のその成果、特に通院の助成についてまとめてみる。

Q：札幌市における少子化の実態は？

A：平成10年度札幌市衛生年報（平成9年統計）によると、札幌市の人口は約179万人であるが年間出生数15,672人に対して年間死亡9,841人でその差は5,831人となっている。年間婚姻届が12,805件あるが昭和57年には20,719人の出生が届けられたが平成9年は15,671人に減少している。（表1、2）

Q：小児科外来診療科について

A：平成11年10月25日で札幌市内の97件の小児科が小児科外来診療の指定を受けているが初診6,500円、再診4,800円であり、3割負担の家族であれば1,950円または1,440円が外来での支払になり、所得の少ない世代の若い親にはかなりの負担になっている。

Q：現在の札幌市の乳幼児医療費助成制度は？

A：平成7年から外来通院は2歳未満児までで受診時負担金580円、入院については6歳未満児に助成されている。

Q：他の都市の現状は？

A：道内212市町村中198市町村が3歳未満児、札幌市を含めて14市町村のみが2歳未満児に助成制度を適応させている。13政令都市では京都と札幌市のみが2歳未満児で

あったが京都は平成11年1月1日から3歳未満児にしており、札幌市以外の政令都市は全て3歳未満児である。

Q：医師会の対応と経緯は？

A：以下に札幌市の対応状況を列記する。

①平成4年6月30日札幌市長に対して通院の助成を2歳未満児まで引き上げるよう要請し、平成7年1月1日にそれが実現している。この時に同時に初診時一部負担金が150円から580円に上げられている。

②平成8年12月2日に小児科医会から小児の特性を分析し助成は3歳未満児まで拡大するのが適切であるとの報告・要請を受け、それに基づき同月24日に札幌市長に札幌市から同様の要請をおこなった。

③平成10年4月15日に札幌市連の活動として、札幌市議会議員との懇談会を催し、札幌市推薦の議員に理解を促した。

④平成10年12月25日第26回札幌市厚生常任委員会に「乳幼児医療費助成制度の対象年齢の拡大を求める」陳情書を提出し、陳情通りに委員会報告書がまとめられた。

⑤さらに本年2月19日第1回定例市議会本

表1 年次別出生児数

年次	昭和56年	57年	58年	59年	60年
出生児数	19,944	20,719	20,611	20,283	19,199
61年	62年	63年	平成元年	2年	3年
19,082	18,439	18,167	17,414	17,427	17,443
4年	5年	6年	7年	8年	9年
17,275	16,348	17,091	16,253	16,305	15,672人

表2 母の年齢別出生数

年齢	15-19歳	20-24歳	25-29歳	30-34歳	35-39歳	40-44歳	45-49歳
出生総数	220	2,401	6,051	5,110	1,663	216	9人

(15歳未満及び50歳以上で各々1人出生、合計15,672人)  
(札幌市衛生年報より)

会議で陳情を採択する事が決定した。第2回定例会議において5月19日に「助成を通院3歳未満児までとし、本年内の実施を目指す事とし最大限の努力をするとともに、北海道に対して強く要望いたしている。」と桂市長が答弁するに至った。

札幌市で助成制度の対象を1歳あげる事に

より5億6千万の予算処置が必要とされ、道からの補助金が期待出来ないため、札幌市はこの問題に熱心ではなかった。しかし今後は議会の答弁を政策化し実践し、全国政令都市の中で唯一の立ち遅れを回復する事が急務となる。(医政部担当理事 白石 正勝)

## 札幌市の動き

…10月…

- 2日・十三大都市医師会連絡協議会(福岡市)
- 3日・十三大都市医師会連絡協議会(福岡市)
- 5日・第7回支部連絡調整会議
  - ・第1回表彰選考委員会
  - ・第13回総務部担当理事会
- 6日・第2回中央ブロック会役員会
- 7日・第7回財務経理部・会館部合同担当理事会
  - ・第7回医事紛争処理委員会
- 8日・第15回理事会
  - ・第3回夜間急病センター担当理事会
- 13日・公認会計士監査
  - ・第4回支部長会
- 14日・公認会計士監査
  - ・保険診療にかかわる学術講演とレセプト検討会
  - ・第5回健康教育活動委員会
- 15日・第4回在宅療養支援委員会
  - ・第6回医政委員会
- 18日・医事紛争処理委員会
  - ・第2回表彰選考委員会
  - ・第10回三役会
  - ・第14回総務部担当理事会
  - ・札幌連打ち合わせ
- 19日・医政に関する懇談会
- ・第4回非常時局積立金制度運営委員会
- 20日・第16回理事会
- 21日・看護専門学校看護婦科成績会議
  - ・准看護婦科戴帽認定会議
  - ・中央区東支部役員会
  - ・東区支部役員会
  - ・豊平区支部役員会
  - ・清田区支部役員会
- 22日・北区支部役員会・臨時総会
  - ・白石区支部役員会・臨時総会
  - ・厚別区支部役員会
  - ・南区支部役員会
  - ・手稲区支部役員会
- 23日・第137回家庭医学講座
- 26日・札幌市監査
  - ・第7回介護保険委員会
- 27日・札幌市監査
  - ・第7回医療保険指導委員会
  - ・看護婦研修会
- 28日・札幌市監査
  - ・新会員との懇談会
- 29日・札幌市監査
  - ・札幌市教育委員会との打ち合わせ
  - ・中央区西支部役員会
  - ・西区支部役員会
  - ・介護療養型医療施設に関する打ち合わせ